

# 揖斐川町 シェッド個別施設計画



平成28年 2月

(平成28年12月更新)

(平成30年 3月更新)

(令和 2 年 3月更新)

揖斐川町 産業建設部建設課

# 1. 道路施設（シェッド）の現状と課題

## 1. 1 現状と課題

- 揖斐川町が管理する供用中のシェッドは令和2年3月1日現在4施設あり、すべて道路改良に伴い県から移管された路線に設置された施設で、県管理道路の時に通行者の安全確保等のため、山間部・積雪地域の路線に設置されました。
- 点検による確実な状態把握、点検結果に基づく措置が必要となっています。

## 1. 2 計画対象（町内道路の路線数と延長）

- 揖斐川町は、1, 351路線（608km）の町道を管理しています。（H31.4.1現在）

種別	路線数	総延長
1級町道	39	48.0 km
2級町道	56	54.7 km
3級町道	1256	505.1 km
計	1351	607.8 km

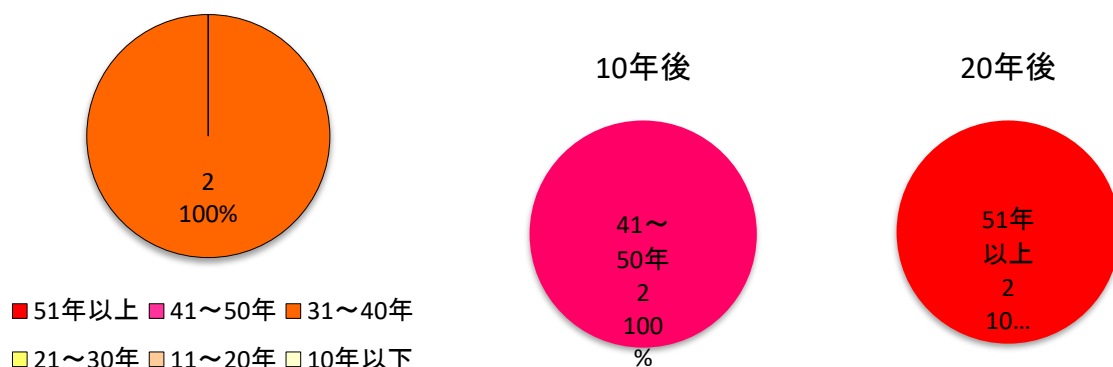
## 1. 2 計画対象（シェッド）

- 町内のシェッドは3路線、4施設あります。（R2.3.1現在）
- 久瀬管内に1施設、藤橋管内に各1施設、坂内管内に2施設が設置されています。

## 1. 3 建設後の経過年数

- 久瀬及び藤橋管内の施設は建設年次が不明。
- 現在（2020年）、坂内管内2施設の建設後経過年数は38年です。
- 2033年には51年を超える施設となります。

2020年現在





## 2. 1 定期点検・診断

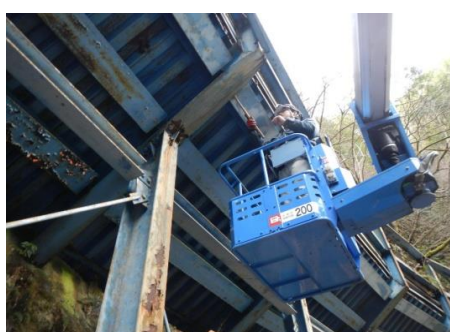
○シェッドの点検については、下記の定期点検要領等に基づき、5年に1度、近接目視による点検を実施し、結果については4段階で区分します。

シェッド・大型カルバート等定期点検要領 (平成26年6月 国土交通省 道路局)  
(平成31年2月改訂)

岐阜県シェッド点検マニュアル (平成27年3月 岐阜県県土整備部 道路維持課)

※定期点検要領等が改訂された場合、最新の定期点検要領等に基づき実施する。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

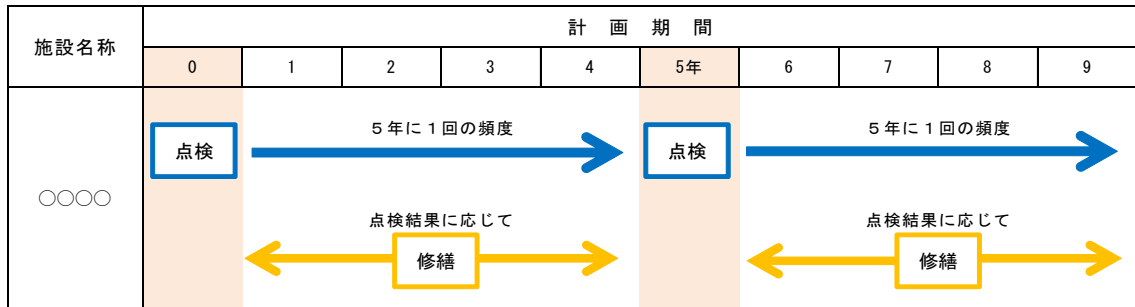


近接目視による点検状況

### 3. 計画期間

#### 3. 1 計画期間の考え方

- 定期点検サイクルを踏まえ点検間隔が明らかとなるよう、計画期間は10年とします。
- 点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新します。



## 4. 対策の優先順位

### 4. 1 優先順位の考え方

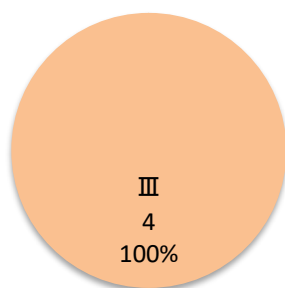
- 点検結果に基づき、効果的な維持及び補修が図られるよう必要な措置を講じます。
- 対策の優先順位は、損傷程度や損傷位置からみる施設の健全性の他、迂回の可否または難易からみるネットワーク、路線の重要性、第3者への影響などから総合的に勘案して判断します。

## 5. 施設の状態、対策内容、実施時期

### 5. 1 シェッドの状態

- 揖斐川町が管理するシェッド4施設を、平成26年度に1施設、平成29年度に3施設点検を実施し、その結果は、判定区分Ⅰ：0施設、Ⅱ：0施設、Ⅲ：4施設、Ⅳ：0施設となっています。
- 判定区分Ⅲの損傷は、腐食・防食機能の劣化が一番多くなっています。
- メンテナンスサイクルを継続的に廻すことで、シェッドを長期間にわたって健全な状態に保つことが可能となります。

#### 一巡目(H26～H30)点検結果



判定区分	判定結果
Ⅰ	0
Ⅱ	0
Ⅲ	4
Ⅳ	0
計	4



主梁の腐食



支承部ボルトの腐食

### 5. 2 対策内容

- 健全性の診断に基づきシェッドの状態等を十分に把握し、効率的な維持及び修繕が図られるよう、必要な措置を実施します。
- 対策事例として、塗装の劣化に対しては塗装塗替工を、コンクリートのひび割れ、うき剥離等に対しては、ひび割れの進行を抑制する工法や剥離対策工等を実施することで、機能を維持します。

### 5. 3 実施時期

- 実施時期は、点検結果及び維持補修の効率化等を踏まえ決定します。

○平成26年度からの一巡目点検結果では、早期措置が必要な施設は4施設すべてでした。  
これまでに2施設の補修が完了しています。



